

平成 30 年度 第6回 政策決定会議 会議録②

-
- ◆開催日時:平成 30 年 10 月 29 日(月) 9:53~10:02
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

・今後の組織・機構編成の方針及び平成 31 年度の組織・機構について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『今後の組織・機構編成の方針及び平成 31 年度の組織・機構について』

〈説明者〉藤浪企画調整部長、新内企画(行財政改革担当)課長、宅田担当主幹

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件一部修正の上承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 公共施設マネジメント課業務と建築課業務を行う新たな課の名称について、公共施設全体のマネジメントを行うことが明確となるように、担当部課と協議のうえ、政策決定会議までに名称案を決定することを確認。

→名称を「公共建築マネジメント課」に修正した旨、決定会議にて報告。

◎説明後、質疑応答

〈市長〉平成 31 年度の組織・機構における部課長の数については、変更になるか。

〈企画課長〉変更はない。

〈土佐副市長〉本案件について、承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を承認する。

別紙

付議会議	平成30年度 第6回会議
付議事項	平成31年度組織・機構編成及び今後の検討の方向性について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	行政サービスを適切に提供するため、効果的かつ効率的な組織編成を行う。

★総合計画上の位置付け

202030101	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)事務を効果的・効率的に行うための体制が整っている
	目指す成果	①効率的かつ円滑に業務が実施されている
	行政の役割	ア 合理的な組織編成と適正な人員管理に努める

★現状と課題

本市の組織機構については、これまでも、社会情勢の変化や市民ニーズに応えるため、随時の見直しを行ってきたところ。喫緊の課題である庁舎建替についても、具体化してきており、今後の組織を計画的に検討する時期に差し掛かっている。その検討の方向性を定める必要がある。

また、想定する方向性を見据え、現在精力的に取組を進めている行財政改革を中心に、本市が推し進めるまちづくりをより効果的、効率的に実現するための平成31年度の組織について検討を進め、案を策定した。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
翌年度組織・機構の検討	14	0	0					
中・長期組織・機構の検討				0				
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	14						
	その他							
事業費			計	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
					H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。